



白石キャピタルオペレーション基金助成対象事業募集

- 募集期間 2月1日(金)～29日(金)
- 助成対象事業 4月1日(火)から9月30日(火)までに実施予定の、次に該当する事業
 - ①歴史文化研究伝承事業
 - ②青少年交流事業
 - ③スポーツ交流事業
 - ④情報化推進事業
 - ⑤そのほか、趣旨に添う事業
- ※②③は対外交流や市全体の交流を主としたものに限ります。
- 申請者の資格 原則として市内に居住し、文化・スポーツ・情報化推

進活動を行っている個人または団体
 ●助成金額 年間助成費の予算の範囲内で個別に審査し、決定します。ただし、1件当たりの助成額は、事業に要した経費(自己負担分)の2分の1以内を限度額とします。
 ※ほかに市からの補助金などを受けている事業は該当しません。
 ●申請・問い合わせ先
 (財)白石市文化体育振興財団事務局(生涯学習課内) ☎22-1327
 ※申請用紙は、事務局(市庁舎2階)に備え付けています。

「放課後児童クラブ」入館児童募集

- 平成20年4月1日から「放課後児童クラブ」に入る児童を募集します。「放課後児童クラブ」は、放課後、保護者や保護者に代わる方が仕事などで家庭にいない、小学生のためのクラブです。集団遊びや行事などに参加し、友達づくりをしながら児童の健全育成を図ります。
- 対象児童 保護者の就労などのため、昼間家庭において保護を受けることのできない、市内の小学校に通学する児童
 - 定員 第一・第二児童館各60名
 - 利用手続き 利用申請書を児童館から受け取り、所要事項を記入して提出してください。
 - 提出書類 放課後児童クラブ利用申請書や就業証明書など
 ※就業などの状況を確認する書類を

児童館でお渡しします。
 ●申込書配布開始日 2月5日(火)
 ●受付期間 2月20日(水)～29日(金)
 ●受付時間 月～土の9:30～18:00
 ●利用時間
 ・学校授業日(月～金)は、授業終了後から18時まで
 ・学校休業日(土曜日、臨時休業日、長期の休みなど)は、8時30分から18時まで(弁当持参のこと)
 ●利用料 月額2,000円
 ※事情により減額または免除となる制度があります。
 ●休館日 日曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日、そのほか児童館運営上必要な日
 ●申し込み・問い合わせ先
 第一児童館 ☎25-7070
 第二児童館 ☎25-3875

パソコン入門講座受講者募集

- ワード、エクセル、パワーポイントの基本操作を習得します。
- 開催期間 2月18日(月)～3月19日(水)
 ※土・日・祝日を除く21日間
 - 時間 9:10～12:10
 - 場所 仙南地域職業訓練センター(柴田郡柴田町船岡照内1-9)
 - 対象 パソコン初心者の方

- 定員 20人(応募多数時は抽選)
- 受講料 13,000円(テキスト代を含む)
- 申し込み方法 電話またはファックスで当センターにお申し込みください。
- 申込締め切り日 2月12日(火)
- 申し込み・問い合わせ先
 仙南地域職業訓練センター
 ☎0224-57-1501 ☎0224-55-2250

(財)白石市文化体育振興財団 嘱託職員募集

- 採用人員 1名
- 応募資格 市内在住の満55歳から64歳までの健康な方
- 勤務場所 白石城および武家屋敷
- 勤務内容 施設の管理・清掃・案内
- 勤務形態 1日8時間(冬期間は7時間)、隔週勤務(7日間勤務し、翌7日間は休み)
- 待遇 週給4万円(冬期間は3万5千円)、社会保険や退職金、通勤手当などの手当なし
 ※詳しくは、事務局までお問い合わせください。
- 面接日など 申し込み受け付け後、ご連絡します。
- 申し込み方法 履歴書を財団事務局(市庁舎2階生涯学習課内)に提出してください。
- 申込受付期間・時間 2月12日(火)～22日(金)8:30～17:00
 ※土・日曜日を除きます。
- 申し込み・問い合わせ先
 (財)白石市文化体育振興財団事務局(生涯学習課内) ☎22-1327

介護老人保健施設清風 パート・ボランティア募集

- 職種・定員 ①パート介護士、②食事ボランティア(各5名程度)
- 従事時間(①②共通) 6:30～8:30および17:30～19:30
 ※いずれか一方でも結構です。
- 時給(①のみ支給) 750円
- 応募資格 ①のみヘルパー2級以上の資格が必要です。
- 選考 ①のみ書類審査・面接を実施
- 応募方法 市販の履歴書(写真を張り付けたもの)を持参または郵送してください。
- 受付開始日 2月4日(月)
- 応募・問い合わせ先
 〒989-0276 白石市大手町2-1
 介護老人保健施設 清風 ☎22-2110
 ※常勤介護士・看護師を併せて募集しています。詳細はハローワークの求人をご覧ください。

市内の各中学校では、学習指導要領のねらいを受けて「子どもたちの生きる力をはぐくむ」さまざまな教育活動を行い、特色ある学校づくりを進めています。「教育のひろば」では、家庭・学校・地域がお互いを理解するとともに、同じ目的に向かって協力し合える姿を目指し、教育活動の紹介を行っています。今月は、平成20年度から本市で初めての小規模特認校となる小原小学校、小原中学校です。

白石市立小原小学校・小原中学校

■住所：白石市小原字伊勢原道上1番地
 小原小学校 ☎29-2026 ☎29-2057 <http://www.obara-e.myswan.ne.jp/>
 小原中学校 ☎29-2027 ☎29-2078 <http://www.obara-j.myswan.ne.jp/>



▲児童、生徒、教職員全員で温かくお迎えします

白石市小原地区特認校制度について

児童・生徒が通学する学校は、住んでいる市町村の教育委員会が指定する小学校・中学校と決まっています。しかし、特認校制度を採用することにより、本人の希望があれば、どこの市町村内からでも就学を認める制度です。ただし、教育活動に賛同、協力し、1年以上通学することが条件で、通学は保護者の負担と責任で行っていただきます。小原小学校と小原中学校は、小中併設校としての利点を生かし、平成20年度から特認校に指定され、新たなスタートを切ることになりました。募集期間は2月4日(月)から22日(金)までです(年度途中での転入学も可能です)。

小規模特認校とは

市町村教育委員会が地域の事情に応じて指定できる学校選択制の一つ。学校選択制はほかに、市町村内のどの学校でも就学できる自由選択制など4種類があります。1990年代に各地で導入され、平成16年度の文部科学省の調査によると、小規模特認校制を導入しているのは全国で小学校が74自治体、中学校は22自治体となっています。

私たちと一緒に勉強してみませんか!!

一個性を大切に、小中一貫的な教育活動を目指して—
 豊かな自然環境、地域の教育環境に恵まれた小規模の小・中学校の特長を生かし、きめ細かな指導と一人ひとりの子どもの個性を大切に教育活動を展開します。また、小中学校の交流や合同行事も多く、9年間の一貫的な教育を目指します。

きめ細かな児童・生徒の学習体制—

- ①通年での専科教員指導 小学校5・6年生の体育、3・4・5・6年生の音楽
- ②単元での専科教員指導 小学校6年生の国語、算数、理科、社会 ※7～8時間、必要な項目について指導
- ③小学校各学年での専科教員指導 年間9時間の各学年における英語活動
- ④中学生と共に学ぶ活動 中学校の総合的な学習の時間、選択教科への小学生の参加

私たちの学校は小さな学校ですが、みんな仲が良く、全員が心を一つにして「世界に輝ける学校」を目指して頑張っています。

学校行事では、一人で何役も仕事をしなければならぬこともありますが、パワー全開で一人ひとりがまぶしいくらいに輝く活動をしています。



▲中学校教師と担任教師による小学生への算数の指導

「小原の宝は教育力!」
 小原中学校 高橋 松五郎校長
 小原には豊かな自然と文化があり、地域の教育力もしっかりとあります。学校の施設・設備も充実しており、伝統として受け継いできた素晴らしい学校文化もあります。このように恵まれた環境の中で、小規模校の利点を生かして学力向上の面でも、心をはぐくむ面でも、二人ひとりを確実に伸ばす教育活動を行っています。昨年10月に姉妹都市の海老名市から来校した2名の中学生も、帰りたいくらいと大感激していました。

「子どもたちの力を伸ばします!」
 小原小学校 大曾根 良憲校長
 少人数学習のため、児童一人ひとりがみんな主役であり、きめ細やかな教育を受けることができます。また、小学校のころから中学校での学びを肌で感じることができ、このころから、中学校生活に不安ではなく、希望が持てます。さらに、とても優しい子どもたちが、年齢の枠を超えて活動をするところにも魅力があります。また、中学校の教師による授業が受けられることは、その専門性を生かすことができ、教科ごとに学習の厚みもできます。このような豊かな学びの環境の中で、小原の子どもたちと仲良く、優しい心で育ち合おうと子どもたちに来てほしいと思っています。